



大事協だより



大島地区公立小・中学校
事務職員協会 研修部
第 79 号
2022年12月 日発行

各地区からのおたより

今回の原稿は奄美市笠利・西部ブロックに寄せていただきました。ありがとうございます。支援室だよりも提供していただきましたのでぜひご覧ください。



奄美市笠利地区学校事務支援室

奄美市北部からこんにちは。笠利地区学校事務支援室です。小学校8校(うち3校が兼務校),中学校2校の7名で構成されています。今年度は事務職員の異動がなかったため、慣れ親しんだメンバーで支援室業務を行っています。

支援室は主に会場校の赤木名中学校にて業務を行い、定期的に給与実績と旅費関係書類の点検を実施しています。1年に1回は兼務校を含めた10校を回り、相互点検も行っています。10月には管外研修視察として鹿児島市と日置市へ行き、他地区の学校事務の様子などを研修することができました。12月には龍郷町との合同支援室を控えており、充実した研修を行うことができそうです。また、支援室だよりは年6回発行を予定しており、手当や出張に関する内容や異動時の役立つ情報・笠利の歴史などさまざまな情報を発信しております。

まだまだ新型コロナウイルス感染症の流行が懸念されますが、今年度は研修会や研修視察などで皆さまとお会いできる機会が戻って嬉しく思っているところです。今後ともよろしくお祈りします。



管外研修視察の様子(鹿児島市立宇宿小学校にて)

奄美市名瀬西部地区事務支援室

こんにちは。奄美市名瀬西部地区事務支援室です。

本支援室は、小学校5校,中学校3校,小中併設校1校の10名(うち1名は共同実施加配,1名は小中兼務),2校目経験以上の中堅&ベテラン事務職員で構成されています。執務室のある金久中学校で月2回程度業務を行っています。

連携校が多く、県費職員を200人以上抱えているため、年度当初の認定件数が多い傾向にあります(令和4年度当初は123件)。四半期ごとに行う相互点検は、中学校区を基準とした、上方地区(朝日中・朝日小・芦花部小中),中央地区(金久中・名瀬小・伊津部小),下方地区(小宿中・小宿小・知根小)の3地区に分けて行っています。そのほか、県費の給与・旅費事務,市費事務,就学援助事務における事例研修,消耗品・備品の共同入札,支援室だよりの発行等を行っています。支援室だよりは、発行時期に合った内容や職員が興味を持ちそうな情報を掲載するようにしています。また昨年度は、オリジナルキャラクター【SEIBUくん】が誕生しました!

支援室では、あらゆる分野での質疑や意見交換・情報共有を気兼ねない雰囲気で行うことができます。業務の間には最近の事務処理について、あれこれと余談も交えて話しながら相互研鑽しています。

これからも名瀬西部地区らしい共同実施ができるよう、10名一丸となって頑張っていきたいと思います。今後ともよろしくお祈りします。





新規採用者の声

瀬戸内町立伊子茂小中学校 中馬 優樹

私が新採として伊子茂小中学校にやってきて半年が経ちました。4月当初は一人暮らし・離島生活、業務内容のどれもが初めての体験で不安な気持ちで押しつぶされそうになることが多々ありました。ですが、学校内の先生方、地域住民の方々、他校の事務職員の先輩方等、優しい方々のサポートもあり、少しずつ生活に慣れていくことができました。

年度初めの業務から現在まで、様々な事務処理を経験させていただきましたが、どの業務においても先輩事務職員の手厚いサポートがなければ成し遂げられないことばかりでした。感謝の気持ちを忘れずに、今まで行ってきた業務の振り返りを行い、正確で円滑な事務処理ができるよう一生懸命取り組んでいきたいと思えます。年末調整や年度末の事務処理があり、これからより一層、忙しくなってくると思うので分からないことをそのままにせず、質問を行い一つ一つ丁寧な事務処理を心掛けたいです。

仕事以外でも積極的に行事ごとに参加して、幅広い年齢層の方々と積極的に交流を行い、貴重な島暮らし生活を有意義なものにしようと考えています。これまでも様々な行事に参加させていただいたことで少しずつ知り合いも増え、地域の方々との交流の機会も増えてきたので、この調子でプライベートも充実したものにできたらいいなと思えます。



瀬戸内町立与路小中学校 安楽 龍二

皆様こんにちは。今年度より新規採用で瀬戸内町立与路小中学校に赴任いたしました、安楽龍二と申します。

与路小中学校は奄美大島本島南部に位置する加計呂麻島のさらに南にある小さな島です。赴任するにあたって、空港まで瀬戸内町の事務職員の先生が迎えに来てくださり、移動しながら世間話や業務に関する知識、事務における仕事の優先順位等を教えてくださったのを昨日のこのように思い出せます。

生活や交通の便、その他にも不便な点が多くある島ではありますが、集落の方々に恵まれ、学校関係者に恵まれ、町の事務の先生たちに恵まれ、毎日楽しく業務に励んでいます。これから3年間、不便を楽しみながら学校事務に関する知識を身に付け、他の先生方がしてくださったように新採職員が赴任した際には助言できるよう、自己研鑽に努めて参ります。

最後になりますが、自然がいっぱいで集落の方々もあたたかい方々ばかりですので、皆様も是非、与路島・請島にお越しください。



寄稿して下さった2名の先生方、ありがとうございました。

執行部よりお知らせ

研究事例発表について

各地区理事の先生方からお話を聞かれているかもしれませんが、地区事務職員研修会で行われる研究事例発表のことで皆さまにお知らせがあります。

大島地区では、かつて地区事務職員研修会は全日程を大島教育事務所(総務課)が主催していました。

当時は、第1回の研修が9:30~16:10、第2回の研修が10:00~16:30という日程で組まれており、第2回の研修のうち45分間の枠内で3市町村ずつ事例発表を行っていました。これが平成25~29年度で一巡したようです。

平成26年度に県下全域で共同実施が導入され、その当時の総務課長より「平成30年度から事例発表の時間を大事協の方で運営してほしい」と依頼がありました。大事協の方で2年間協議をした結果、現在の研究事例発表の形となりました。またこの運営の形になった理由に、各市町村での状況を地区内で情報共有する狙いも含まれております。

令和6年度で研究事例発表の輪番が一巡するため、この

枠の在り方を再度検討する必要があります。平成30年度に新体制がスタートした時と同様に時間を要することが予想されるため、皆さまにご協力いただくことが多くなるかと思えます。よろしくお願ひします。

